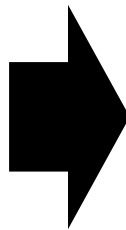


宗像市の防災の取組みについて

【過去の災害対応を振り返って】

これまででない件数の浸水被害
複数箇所で同時に道路冠水が発生
豪雨災害中の土のうの要望多数
ライブカメラの閲覧数の多さ
災害時の道路冠水対応
災害復旧時における庁内共有に課題
防災メール等では情報を取得できない市民の存在
避難所におけるトイレ環境の整備



【取組み内容】

浸水対策補助金制度の創設
移動式排水ポンプの追加整備
土のうステーションの設置
防災ライブカメラの増設
関係機関と連携した訓練の実施
防災情報ダッシュボードの再構築
防災行政無線システムの再整備 (市内全域に防災スピーカーを導入)
災害用トイレカーの導入

上記のうち、 ~ については、昨年 8 月豪雨を受けて新たに取り組んだ内容

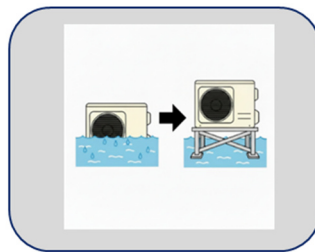
浸水対策補助金制度の創設

令和 7 年 8 月の大雨を受けて、同年 1 2 月議会にて補正予算を計上し止水板等設置補助金を新設し、令和 8 年度も実施している。止水板設置だけでなく、家屋付帯設備（室外機、給湯器、駐車場等）のかさ上げ工事等、浸水対策となる工事を柔軟に対応するメニューとなっている。

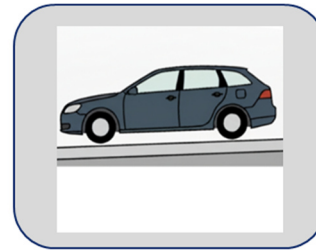
工事費用の 1/2 を補助、補助上限 50 万円



① 止水板



② 室外機等のかさ上げ



③ 駐車場かさ上げ

移動式排水ポンプの追加整備

昨年に続き、2.5mプールの水を20分程度で排水可能（15^m³/min以上）な移動式排水ポンプを1台追加して整備し、田久地区、田熊地区の道路に溜まった雨水を2か所同時に河川等に排水可能。



土のうステーションの設置

市内13か所（12コミュニティ各1箇所ずつ+地島）に土のうステーションを設置し、大雨時の緊急的な浸水対策に利用可能な土のうを配備。なお、ステーション内の土のうは各地区の自主防災組織（防災士等）が協力して作成。



南郷地区



自由ヶ丘地区

防災ライブカメラの増設

豪雨時に冠水するリスクが高い2か所（赤間西地区、河東地区）に防災カメラを増設し、大雨で冠水した道路状況等を確認可能。（市全体で10地点11箇所を市防災HPにて公開中）



防災カメラ



赤間西地区
(赤間駅前)



河東地区
(稲元)

【市内の防災ライブカメラ一覧】

カメラ名	設置場所	設置年度
赤間駅南口	栄町（赤間駅南口ロータリー付近）	令和3年3月
赤間駅北口	赤間駅前（赤間駅北口交差点付近）	令和8年3月
河東	稲元4丁目（河東小学校入口交差点付近）	令和3年3月
河東	河東（河東西小学校入口交差点付近）	令和7年3月
河東	稲元3丁目（城西けやき通り）	令和8年3月
東郷	田熊2丁目（宗像簡易裁判所付近）	令和3年3月
東郷	東郷1丁目（宗像教育会館付近）	令和7年3月
田久	田久3丁目（田久交差点付近）	令和6年3月
田久		
田久	田久2丁目（スーパービバモール赤間店付近）	令和7年3月
くりえいと	くりえいと1丁目（くりえいと通り）	令和6年3月

関係機関と連携した水害対応訓練の実施

道路冠水が頻発している宗像市田久にあるはるかスィミングスクール赤間校の駐車場で、北九州県土整備事務所宗像支所、宗像警察署、宗像管工事組合、宗像市消防団、宗像市役所など関係機関が集まり、道路冠水時の通行止め等に関する合同訓練を5月29日に実施。令和7年の豪雨災害を踏まえ、出水期前に関係機関との連携強化を図ることを目的として実施。

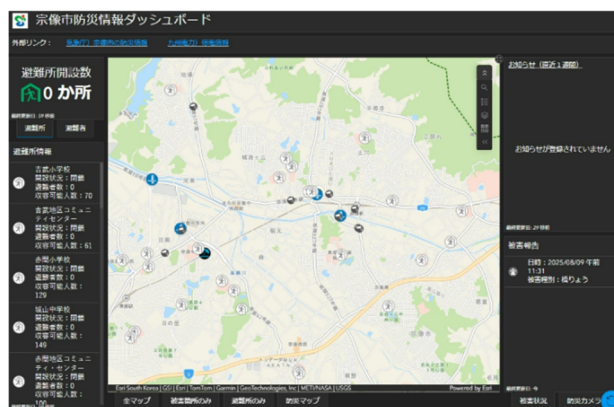
【訓練内容】

- ・ 関係機関による道路の通行止めに係る連携訓練（情報伝達）
- ・ 移動式排水ポンプ車の稼働訓練（現地での設置・操作・排水）
- ・ 消防団による浸水対策（土のう積み、止水板設置）の実演紹介



宗像市災害情報ダッシュボードの再構築

道路冠水警報システムで感知した冠水情報が自動的に地図上にプロットされる等の再構築と、発災現場の可視化に加えて復旧作業の進捗も確認可能。



防災行政無線システムの再整備

これまで離島や沿岸部を中心に設置していた防災スピーカーを市内全域に整備。モーターサイレン及び既存の防災スピーカーを高性能スピーカーへ更新。



災害用トイレカー

自走可能なトイレカーを導入し、大規模災害時に、下水道の損壊等により既存のトイレが使用できない場合も適切なトイレ環境を確保。平常時にはイベント等での利用も可能。

